

「日本語教育の参照枠」の指標に基づく日本語能力の自己評価ツール 「にほんご チェック！」について

○ 対象及び目的

国内外の日本語学習者を対象とし、ウェブ上のシステムで表示される Can do の言語活動がどの程度できるかを答えていくことで、自身の日本語能力を簡易に判定し、その結果を日本語学習の目標設定に役立てたり、レベルに合った適切な学習教材の提示をしたりすることで、自律的な学習を促していくことを目的とする。

○ 準備する言語 (14 言語)

日本語、英語、中国語 (簡体字)、韓国語、モンゴル語、フィリピン語、ベトナム語、クメール語、タイ語、ミャンマー語、インドネシア語、ネパール語、スペイン語 (南米スペイン語)、ポルトガル語 (ブラジル・ポルトガル語)。

○ 自己評価の方法

「日本語教育の参照枠」において、6 レベル、五つの言語活動 (聞く、読む、話す (やり取り・発表)、書く) で、A 1 レベルから順に提示される Can do について、日本語学習者が、「1.できない」、「2.あまりできない」、「3.難しいがなんとかできる」、「4.できる」の 4 段階で回答していくこと自身の日本語能力の評価を行う。同時に、学習者のレベルに合った教材を示す機能を設ける。

○ 使用する Can do

「日本語教育の参照枠 Can do の量的検証に関する調査報告書」で示す、Can do の困難度が適正であると判断される「代表項目」118 項目を中心に、6 レベル、五つ言語活動ごとに五つ程度、合計 136 項目程度の Can do を使用する。

表 10 言語活動別・レベル別中央値

	聞く	読む	やりとり	発表	書く
A1	-1.95	-1.63	-1.23	-1.57	-1.04
A2	-1.67	-1.01	-1.66	-0.76	-0.71
B1	-0.75	-0.19	-0.47	0.33	0.23
B2	0.47	0.60	0.94	0.99	1.00
C	0.65	0.87	1.46	1.22	1.36

*日本語教育支援協会 (2021) 「日本語教育の参照枠」Can do の量的検証に関する調査報告書」p.15

https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkashingikai/kokugo/nihongo/nihongo_107/pdf/93240301_03.pdf

○ 自己評価ツールのイメージ図



利用規約 プライバシーポリシー お問い合わせ

文化庁 © Japanese Language Division, Agency for Cultural Affairs

LANGUAGE 日本語

日本語能力自己評価ツール にほんご チェック!

チェック! する前に

にほんご チェック! は、欧州評議会が2001年に公開したヨーロッパ言語共通参照枠 (Common European Framework of Reference for Languages: Learning, teaching, assessment, CEFR) を参考にして取りまとめられた「日本語教育の参照枠」で示されている「全体的な尺度」の6つのレベルで日本語能力を確認することができるツールです。

「全体的な尺度」はA (基礎段階の言語使用者)、B (自立した言語使用者)、C (熟達した言語使用者) の3つに分かれており、それぞれの段階が2つに分かれていることから、合計で6つのレベルがあります。6つのレベルごとに、日本語でできることは下の表の通りです。

全体的な尺度 (抜粋)

全体的な尺度 (抜粋) の表
次ページ参照

利用者は、「～できる」という形で示した文である言語能力記述文 (Can do) で表された5つの言語活動 (「聞く」「読む」「話す (やり取り)」「話す (発表)」「書く」) について、日本語でどのくらいできるか、4段階で答えていくことで、自分の日本語能力を知ることができます。

にほんご チェック! で使われている Can do は、文化審議会国語分科会日本語教育小委員会が取りまとめた「日本語教育の参照枠」で示されているものです。

自己評価は、5つの言語活動の全て、あるいはその一部のみを行うことができます。今、自分が日本語でどんなことができるのかについて知るためにご利用ください。

トップページに戻る

利用規約 プライバシーポリシー お問い合わせ

文化庁 © Japanese Language Division, Agency for Cultural Affairs

LANGUAGE 日本語

日本語能力自己評価ツール にほんご チェック!

聞くこと

日本語でできますか?

Can do	できる	難しいがなんとかできる	あまりできない	できない
意味がとれるように間を長くおきながら、非常にゆっくりと注意深く発音してもらえば、発話を理解できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
当人に向かって、丁寧にゆっくりと話された指示なら理解できる。短い簡単な説明なら理解できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>



利用規約 プライバシーポリシー お問い合わせ

文化庁 © Japanese Language Division, Agency for Cultural Affairs

LANGUAGE 日本語

日本語能力自己評価ツール にほんご チェック!

書くこと

あなたの力は

B1です。

B1では、こんなことができます。

身近で個人的に関心のある話題について、つながりのあるテキストを書くことができる。私信で経験や印象を書くことができる。

他の活動もチェック! しよう

読むこと 話すこと (やり取り) 話すこと (発表) 書くこと

チェック! した言語活動のまとめ

利用規約 プライバシーポリシー お問い合わせ

文化庁 © Japanese Language Division, Agency for Cultural Affairs

LANGUAGE 日本語

日本語能力自己評価ツール にほんご チェック!

チェック! した言語活動のまとめ

	A1	A2	B1	B2	C1	C2
聞くこと						
読むこと						
話すこと (やり取り)						
話すこと (発表)						
書くこと						

聞くこと B1
仕事、学校、娯楽でふたん出合うような身近な話題について、明瞭で共通語による話し方の会話なら要点を理解することができる。話し方が比較的ゆっくり、はっきりとしているなら、時事問題や、個人的若しくは仕事上の話題についても、ラジオやテレビ番組の要点を理解することができる。

読むこと B2
筆者の姿勢や視点が出てくる現代の問題についての記事や報告が読める。現代文学の散文は読める。

話すこと (やり取り) B1
当該言語圏の旅行中に最も起こりやすい大抵の状況に対処することができる。例えば、家族や趣味、仕事、旅行、最近の出来事など、日常生活に直接関係のあることや個人的な関心事について、準備なしで会話に入ることができる。

話すこと (発表) A2
家族、周囲の人々、居住条件、学歴、職業を簡単な言葉で一連の語句や文を使って説明できる。

書くこと B1
身近で個人的に関心のある話題について、つながりのあるテキストを書くことができる。私信で経験や印象を書くことができる。

利用規約 プライバシーポリシー お問い合わせ

文化庁 © Japanese Language Division, Agency for Cultural Affairs